

# 町長の「ビジョン」を問う

3会派から3人の議員が、町長に質問しました。

※質問者順に掲載しています。

会派代表質問は、新年度を前にして、今後1年間のまちづくりに対する町長の施政方針や主な施策などを問うものです。

掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。  
なお、「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
10	1. 地方創生戦略について 1) まちづくりにおける地域連携の取り組みについて 2) 人口減少と高齢者支援に向けた取り組みについて 3) 地方創生加速化交付金について 4) シティプロモーションについて	精華の会 森田 喜久
11	1. わが国と精華町をめぐる現下の情勢についての基本認識を問う 2. 地方創生の人口ビジョン・総合戦略とまちづくり 3. 経済・産業施策 4. 教育	日本共産党 佐々木雅彦
11	1. 精華町地域創生戦略の推進 2. 健康づくり 3. 子育て支援体制の充実 4. 高齢者支援（介護支援ボランティア制度の推進） 5. 教育行政の充実 （主権者教育の推進、小中学校へのエアコン設置）	公明党 今方 晴美

## 精華の会

### Q 地方創生戦略の取り組みは

A 府や関係機関と協議しながら進めている



森田喜久議員



光台と生駒市の境界

- Q** 精華大通り西方面への延伸は。
- A** 生駒市の動向を見ながら府に対して要望していく。
- Q** 不足している産業施設用地の確保は。
- A** 学研狛田東・西の両地区を候補地とし、経済情勢を見ながら積極的に開発事業者に誘導を図っていく。
- Q** まちづくりにおける地域連携の取り組みは。
- A** 学研精華・西木津地区と高山地区に挟まれた区域も、地権者の意向が
- Q** 精華大通り西方面へまともなれば、町全体のまちづくりの中で活用方法を検証していく。
- Q** 今後の人口減少と、高齢者支援の取り組みは。
- A** 人口減少対策として、町地域創生戦略に基づき、外向き・内向きのプロモーションを一体的に推進する。高齢者支援は、地域で支える生活支援の確立や、地域包括ケアシステムの充実に取り組む。

# 日本共産党



佐々木雅彦議員

## Q 学校のエアコン設置はいつ

A 平成 29・30 年度に設置する



各国語のサイン

※インバウンド…海外から日本へ来る観光客

- Q** 格差拡大を政治の再配分機能で是正するのは、富の再配分は、行政の重要な役割である。
- A** 富の再配分は、行政の重要な役割である。
- Q** 安本法制は立憲主義に反すると考えるか。
- A** コメントは差し控える。
- Q** 府も本町も出生率が低い。青年層の流出防止を含め対策を問う。
- A** 安心して子育てでき、働きたいと思えるまちづくりを進める。
- Q** 地元経済の活性化には①通年的な観光施策が必要②事業所の実態把握をすべきでは。
- A** ①今後も、まちの魅力を発信する②各種統計調査で把握する。
- Q** インバウンド(※)対応としても、4カ国語表示やサインが必要では。
- A** 検討を進める。
- Q** 本町の未来は、定住人口増加ではなく、交流人口増加で活性化する方針なのか。
- A** その通り。
- Q** 小中学校へのエアコン設置の時期は。
- A** 平成29・30年度で設置する。
- Q** 中学校給食の実施時期は。
- A** 平成31年度以降に整備する計画。

# 公明党



今方晴美議員

## Q 3中学校から早期にエアコン設置を

A 中学校から整備を行うことが望ましい



6 の日 喫茶

- Q** 高校受験に臨む中学生の夏の授業環境を考慮すると、まずは中学校へエアコン設置を。
- A** 小学校と比較して中学校の教室の稼働率がかなり高い。中学校から整備を行うことが望ましいと考えている。
- 高齢者支援**
- Q** 高齢者の健康づくりや社会参画の場づくりを促す取り組み「介護支援ボランティア制度」導入の検討を。
- A** 新総合支援事業の中で、活動経費などが補助できる仕組みを検討している。
- 子育て支援**
- Q** ①「子育てコンシェルジュ事業」の相談体制の整備を②ワンストップで総合的な相談支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置を。
- A** ①利用者支援専門員の配置や窓口名称の明確化を検討する②子育て支援施設の整備をはかり、設置を検討する。
- 健康づくり**
- Q** 多くの町民参加とセイヤ歩数計アプリの活用による健康づくりの取り組みを。
- A** ウォーキングが継続できる仕組みを研究する。

本会議  
常任委員会  
その後を追え  
表決結果  
管外研修  
代表質問  
一般質問  
その後を追う  
街をつくる人

# 「ここが、聞きたい」

## 一般質問 Q&A

9人の議員が町長・教育長に質問しました。

掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。なお、「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの施策を問うものです。

質  
問  
席

ページ	質問事項	質問議員
13	1. 業務継続計画の策定を 2. 町オリジナルの婚姻届について 3. 認知症対策の充実	内海富久子
13	1. 施政方針のまちづくりについて 2. 4年目を迎える精華365について	山本 清悟
14	1. 中学校クラブ活動充実	三原 和久
14	1. 精華町バス（ふれあい号、マイクロバス）について 2. 電力自由化について	塩井 幹雄
15	1. 保健センターについて	村田 周子
15	1. 町道整備について 2. 自治会加入促進について	安宅 吉昭
16	1. 学研都市を活用したまちづくり 2. 行財政改革	神田 育男
16	1. 介護保障の歴史的到達点と当面の課題について	坪井 久行
17	1. 文化財のデジタルミュージアム化について	岡本 篤

※ は、本文以外の質問事項です。  
※ 質問者順に掲載しています。

# 徘徊者の安全確保にGPS探知機の貸与を

## A 府内の先進事例を検証する



認知症の徘徊模擬訓練

**Q** 徘徊者の事故未然防止や早期発見に、地域で支え見守る支援体制は大変重要である。しかし、府県外の徘徊や何回も徘徊を繰り返す介護家族の心情は、多くの関係者の協力を求めることにはためらう人が多い。重層的な手段の一つの探索機器の導入を。

**A** 高齢者等SOSネットワークでメール配信を活用し、徘徊模擬訓練を実施している。28年度実施のQRコードシールの活用や、府下3市町の実施内容も含め検証する。府県外徘徊者の課題は広域会議で議論していく。

**Q** 町オリジナル婚姻届の発行を

**A** 特別な記念として、手元に残せることができ、用いた婚姻届と、記念撮影コーナーの設置を提案する。

**A** 28年度中の早期実施を検討する。

**業務継続計画の策定を**

**Q** 大規模災害時、限られた職員数で優先事業を早期に復旧する手順・行動の事前計画を。

**A** 電算システム系は策定済み。28年度中策定に向けて準備中。



内海富久子 議員

# 町政協力員の報酬の見直しは

## A 自治会助成にシフトして行く



山本清悟 議員

**Q** 自治会と小学校単位の地域コミュニティの役割分担は。

**A** 身近な取り組みの自治会と、その延長線上で必要に応じて広範囲で取り組むものに、線引き、分担している。

**Q** 町政協力員の報酬の世帯割分は、地域コミュニティに活用か。

**A** 自治会助成にシフトの方向で考える。配分見直しなども含め検討している。

**高齢者の居場所づくり**

**Q** 高齢者の活躍できる常設場所づくりは。

**A** 住民主体の健康・介護予防の居場所づくりモデル地区の立ち上げを支援し、担い手を養成する。

**歩く健康づくり**

**Q** セイカ歩数計アプリのデータ検証は。

**A** 現在、歩数計は、個人でデータ管理のみ。今後は収集や分析できる仕組みを構築する。

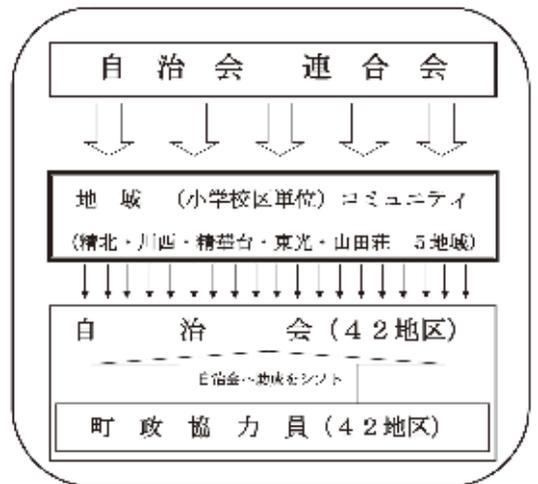
**Q** 歩く環境整備を。

**A** 健康ウォーキングマップに取り組む。

**Q** 山手幹線南進は

**A** 菅井・植田地区の組合設立は。

**Q** 28・29年度内の国の補助期間中に、区画整理組合設立を支援する。



地域コミュニティのイメージ図



三原和久議員

## Q 外部指導者のクラブ活動への参加を

A 技術指導については大変有効と考える



クラブ外のミニバスケット

**Q 生徒の意見を聞いて**  
 ① 中学校クラブ活動は、少子化の影響を受け、教員数の減少、顧問の異動、専門的な指導者不足などで、生徒たちが求めている運動部がなく、生徒の希望に 대응することが困難である②生徒のクラブ加入率は③生徒が求めているクラブ活動のアンケート調査は④外部指導者のクラブ活動への参加は。

ほしいと要望があれば、総合的に判断した上で設置について検討する③技術指導については大変有効と考える。

**加入条件の整理を**  
 ① 各学校間で、クラブ活動加入条件はさまざまである。精華中学校は強制ではなく、精華南中学校はどこかのクラブに加入するとなっているが、統一はできないか。

**A** 生徒の自主性、主体的な活動を認識し、校長会で意見交換して、伝わり方に問題がないか確認する。

**Q** ①3中学校の生徒1222人の内、約93%の1134人が加入②調査は実施していないが、複数の保護者や生徒から、新しいクラブを創設して

## Q 車いすで町民バスを利用できるのか

A 代替バスで対応する



塩井幹雄議員



ふれあい号

**町民バス「ふれあい号」**

**Q** 購入後26年が経過した。老人会・福祉サロン・自主防災会などが利用し、住民にはありがたい交通手段と評価している。運行実績は。

**A** 稼働日163日、走行距離は約2万キロ。

**Q** 排ガス規制で行けない地域の対応は。

**A** 大阪府・兵庫県の50市町が規制され、研修先が対象地域のときは、代替バスで対応している。

**Q** 車いすの障がい者が利用できる対策は。

**A** ふれあい号、マイク

ロバスとも対応していない。要望があれば予算の範囲内で、代替バスで対応する。現在まで実績はない。

**電力自由化について**

**Q** 今年4月から全面自由化になる。町の電力費用が増加する中、削減に向けて、役場をはじめ町施設の電力供給先の選択の考えは。

**A** 当面は現状の安定した電力供給を受け、新電力事業者に対する調査研究を行い、近隣市町村の動向も十分精査したうえで、安定した電力調達に努める。



村田周子議員

# Q 新保健センター建設の今後の進め方は

## A 新たな場所への建設を視野に

保健センター来館者に対する駐車場の安全対策は。

**A** 来館者が多い場合、シルバー人材センターから安全誘導員を1名配置し、川西小学校の南側駐車場を臨時駐車場として借用している。また、他の日は町職員が来館者に安全誘導している。

**Q** くるりんバスでの来館者の時間的配慮は。

**A** 母子健康手帳配布時に確認し、来館時間を配慮している。

**Q** 新保健センター建設についての現在の状況及び今後の進め方は。

現建物の老朽化のため、新たな場所への建設を視野に、建設計画づくりを進める。

**Q** 住民参加型「(仮称)新保健センター建設委員会」を立ち上げる考えは。

**A** 現段階では考えていないが、健康づくり団体・住民の意見を聞く場は設けていく。

**Q** 新保健センター建設のため、町からの国、京都府への助成のアクションは。

**A** 28年度、京都府に対して京都府町村会から予算に関する要望をし、財源確保に努力する。



保健センター

# Q 町道整備にさらなる努力を

## A 通学路の安全対策に注力している



安宅吉昭議員

**Q** 町道整備の推進状況は。

**A** 通学路の交通安全対策としての歩道整備や、狛田駅東土地区画整理事業の周辺アクセス道路の整備、下水道整備に合わせた集落内の生活道路整備などを推進している。

**Q** 財政難のなか、道路整備に交付金を活用している。

**A** 国は、通学路の交通安全対策事業の推進に重点配分する考えであり、今後も道路整備は、国の交付金などの財源確保に努め、児童や歩行者の通行の安全確保のための歩

道整備や生活道路の整備を進めていく。

**Q** 地域コミュニティの基礎単位である自治会加入の支援はできているか。

**A** 新たな自治会設立時の支援や、転入者への自治会からの加入案内書の配布などで支援をしている。

**Q** 町広報誌などの配布方法の検討は。

**A** この間、町政協力員と広報誌等の全戸配布の協議をしてきたが、28年度中に自治会で決定していく。



小学校の通学路



神田育男 議員

# Q 鉄道事業者が所有する 狛田地域の開発計画は

A 今後、協議を進めていく



東畑の里山

鉄道事業者に

積極的な働きかけを

Q 施政方針には、狛田地域の用地開発を促進するとある。狛田駅が精華町の北の玄関口ならば鉄道事業者の開発が必要不可欠だ。

A 産業施設用地の不足という事情もあり、今後協議を進めていく。

東畑の住宅用地の有効活用は

Q 十九億円を投じて買い戻した用地で、事業の目標と評価指標が見えない。情性の活動になるのでは。

A 施設の設置は、今後

財源とにらみながら整理していく。当分の間はふれあいゾーンとして生かしていきたい。

山砂利採取跡地の活用を

Q 埋め戻し地は雑草が生い茂り、排水など環境保全の面からも問題だ。町長が先頭に立って解決を。

A 大事な課題である。最終の土地利用についても、全力を挙げて取り組む。

●自治体の経営革新に向けた新公会計システムと事業評価制度の導入について質問しました。

# Q 要支援者のサービス維持は

A できる限りサービス維持に努める



坪井久行 議員



下狛ふれあいの家

Q 介護の社会化を目的とする介護制度だが、重い保険料負担と、支給限度額を超えるサービスは全額負担のため、低所得者ほど利用を控え、家族介護への依存が強まる。

A 介護制度の歴史的到達点と課題は。サービスは向上したが、高齢化率の進行に伴い、介護給付費が増え、介護保険料の上昇やサービス不足も予測される。制度に頼りすぎている。今、医療から介護へ、施設から在宅への考え方で、自助を原則として、互助の推進、その上での共助

それでも対応できない場合は公助という考えで包括ケアをめざす。

Q 29年度から要支援者の訪問・通所介護が町の総合事業に移行するが希望者へのサービス維持は。

A できる限り現行サービスを必要とする方の水準維持に努める。

Q 国では次期見直しに向け、要介護1・2の生活援助等の保険外しを検討中だが、見解は。

A 国の動向に注視する。Q 介護士の待遇と不足が問題。独自支援は。

A 介護資格取得受講料助成は継続する。

# 文化財のデジタルミュージアム化と活用は



岡本 篤議員

## A 歴史物語の基盤づくりを目指す

**Q** 昔話を語る人、伝統芸能などが、近年、高齢化や老朽化、環境破壊などで存続の危機にさらされている。本町の文化財、文化遺産をどのように保存・継承していくのか。

**A** 町が収蔵している民具などの展示を中心に、デジタルミュージアム(※)化により、古くからの人々の豊かな営みの様子などを実感できるインターネット博物館をつくる。

**Q** 今後の展開とスケジュールは。

**A** 本町の国指定重要文化財などをデジタルミュージアム化していく。28



武内神社の本殿（北稲）

年度の早期に公開を予定している。

**Q** シティプロモーションの一環としての活用は。

**A** わが町に対する誇りや、郷土愛こそがシティプロモーションの原動力であり、まずは住民に届けることを基本としている。町民の皆様が、口コミやSNSなどで情報発信していただくことが重要と考える。

※デジタルミュージアムとは：文化遺産の写真などをインターネットで閲覧できるホームページ。

## お知らせ

■次回、平成28年度定例会6月会議は、平成28年6月10日(金)からはじまります。

6月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は平成28年6月2日(木)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。



あなたも議会を傍聴しませんか  
インターネット中継もご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL：95-1908 FAX：95-3972  
<メールアドレス> gikai@town.seika.kyoto.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。  
<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

# その後を追う

議会だより 148 号より  
(H27.5.1 発行)

## どこまで進んだの!?

### ①女性の管理職登用②採用・職域拡大の考え③リーダー教育の取り組みは

その時の答  ①本人の意思と資質、人材育成による能力開発が相まって実現する。  
②圧倒的に男性の応募が多い。女性の応募が増えるよう工夫する。  
③職員全体の能力向上が重要。各種の研修を進めていく。

その後現在は ……

- ①平成28年4月1日付け人事異動では、女性管理職の登用には至りませんでした。今後も引き続き人材育成に取り組んでいく考えに変わりはありません。
- ②職員の採用等の際には、募集案内等について、関西圏の大学などを中心に女子大学などにも送付するなどの取り組みを進めていきたいと考えています。
- ③男女を問わず、引き続き職員として必要な各種研修を受講させることにより職員の能力、資質の向上を図ります。  
(総務課)



庁舎2階 総合窓口

### 特産品や観光農業を生かし、雇用創生、シティプロモーション推進を

その時の答  華工房を拠点とした6次産業化の推進や、観光農業を活性化させることで、安定した雇用の創出や、本町の観光農業の知名度が高まっていくと考える。

その後現在は ……

華工房では特産品開発協議会による体験講習会が開催されるなど、本町の特産品を活用した新商品開発や販路拡大に取り組むことで、6次産業化の推進につなげていきます。併せて、特産品をはじめ観光農園や精華町の魅力を、新たな観光パンフや案内板により各方面に情報発信し、本町への誘客拡大を図り、観光農業などでの雇用の創出、活性化を目指しているところで  
(産業振興課)



華工房 みそづくり

### 中学校給食の実施時期は

その時の答  空調設備の設置後になるので、平成30年度以降になると考えている。

その後現在は …… 中学校給食の実現に向けて、財源確保に全力で挑戦していくとともに、平成28年度については、学校給食の基本構想策定の基礎調査に取り掛かることとしていきます。  
(学校教育課)

# 街をつくる人

73

京都廣学館高等学校

## 地域や社会に貢献できる 人材の育成をめざして

本校の教育は南京都学園の創設者であります本部廣哲先生の「人間の能力は生まれつきのものでなく、その人の努力によって開発され、無限に伸ばされる」という教育理念に基づいており、この理念と相通ずる精神を持つ少林寺拳法を正課として、教育の柱の一つに取り入れております。

### 学園の歴史

本学園は昭和32年設立の本部塾を源にして、昭和50年に学校法人の認可を得、南京都幼稚園、南京都商業高等専修学校を開設し昭和59年、この精華町にて南京都高等学校が開校しました。高校創立30周年の節目に校名を京都廣学館高等学校と変更し、さらに生徒の可能性を伸ばす教育を展開しています。また、本学園では、宇治市小倉に京都福祉専門学校と伏見区丹波橋に京都動物専門学校を設置し、専門職業教育の充実を目指しています。

### 地域とのふれあい

さて、私たちは精華町の皆様と共に、四季を通じて様々なイベン



ト等に参加させていただいています。特に生徒会や吹奏楽部、少林寺拳法部やダンス部は声をかけていただくことが多く、春には、かしのき苑での「ふれあい祭り」、夏まつりや秋の「せいかな祭り」には毎年参加させていただいています。また、吹奏楽部は他にも東光小学校での「精華フレンドシップコンサート」や、けいはんな記念公園での「春色コンサート」、保育所、幼稚園、老人福祉施設でのイベントにも積極的に参加しています。

精華町唯一の高等学校として、地域の皆様との絆を深めると共に「地域や社会に貢献できる人材を育成する」という本校教育の目的の実現に向けても、こういった活

動には今後も積極的に参加して行きたいと考えています。これからは様々な場面でお目にかかると思いますので、気軽にお声かけいただけると嬉しく思います。

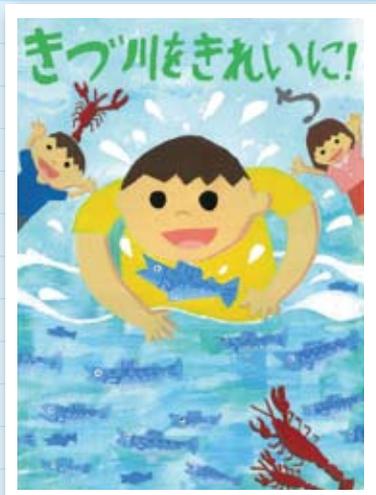
### 京都廣学館高等学校

精華町下狛中垣内48番地

TEL.0774-93-0518

校長 中西 紳也





磯野  
弘典さん(4年)



木下  
芙美さん(2年)



井上  
大暉さん(3年)



田中  
綾華さん(6年)



岡本  
弥椰子さん(5年)

### 表紙撮影者 "ひとつと"

### 藤本 幸夫さん (精華町文化協会 デジタル写真クラブ)

入学式を迎えた新1年生。期待と不安の入り交じった表情を見ていると、「もし、自分がこのころに戻れたら、今度はどんな人生になってたかな……」と、つい、そんなことを考えながらシャッターを切っていました。

○撮影日：平成28年4月7日(木) ○撮影場所：東光小学校「入学式」にて

### 編 集 後 記

平成28年度がスタートしました。今冬は寒暖の差が大きく体調を整えるのが大変だったと思います。さて、町の打越台にあるごみ焼却場は35年以上経過し、老朽化が激しいため木津川市に新しい施設が建設されます。完成には2年余りかかりますが、

学研都市にふさわしい循環型社会を推進する中核施設になるよう期待しています。「議会だより」の編集では、いろいろな所に視察研修に行き、見やすい、わかりやすい誌面にするよう、委員みなんで協力して頑張っています。ご感想、ご提案など、ぜひ議会事務局までお寄せください。お待ちしております。

### 広報常任委員会

委員長 三原 和久  
副委員長 安宅 吉昭  
村田 周子・宮崎 睦子・今方 晴美  
塩井 幹雄・坪井 久行・内海富久子

### 議会事務局

TEL : 0774-95-1908  
FAX : 0774-95-3972